

いのちをつなぐ

**SARAYA**

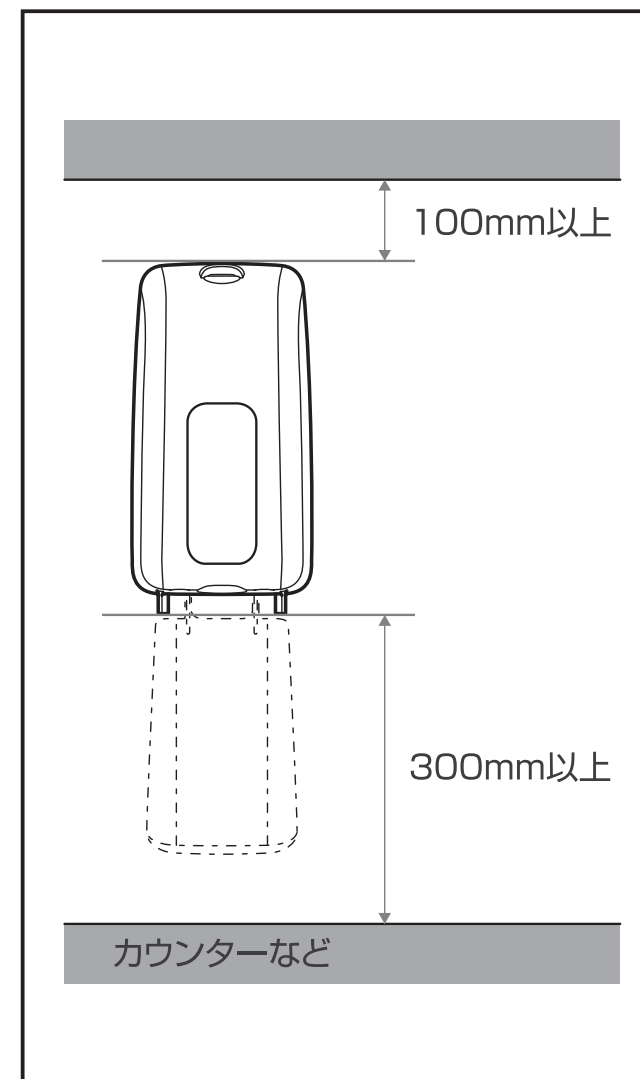
**UD-8600-PHJ**

# 取付板を使用した、UD-8600-PHJ の壁面への取付手順

- 1) 取付板の取付
- 2) 本体のセット
- 3) 完了



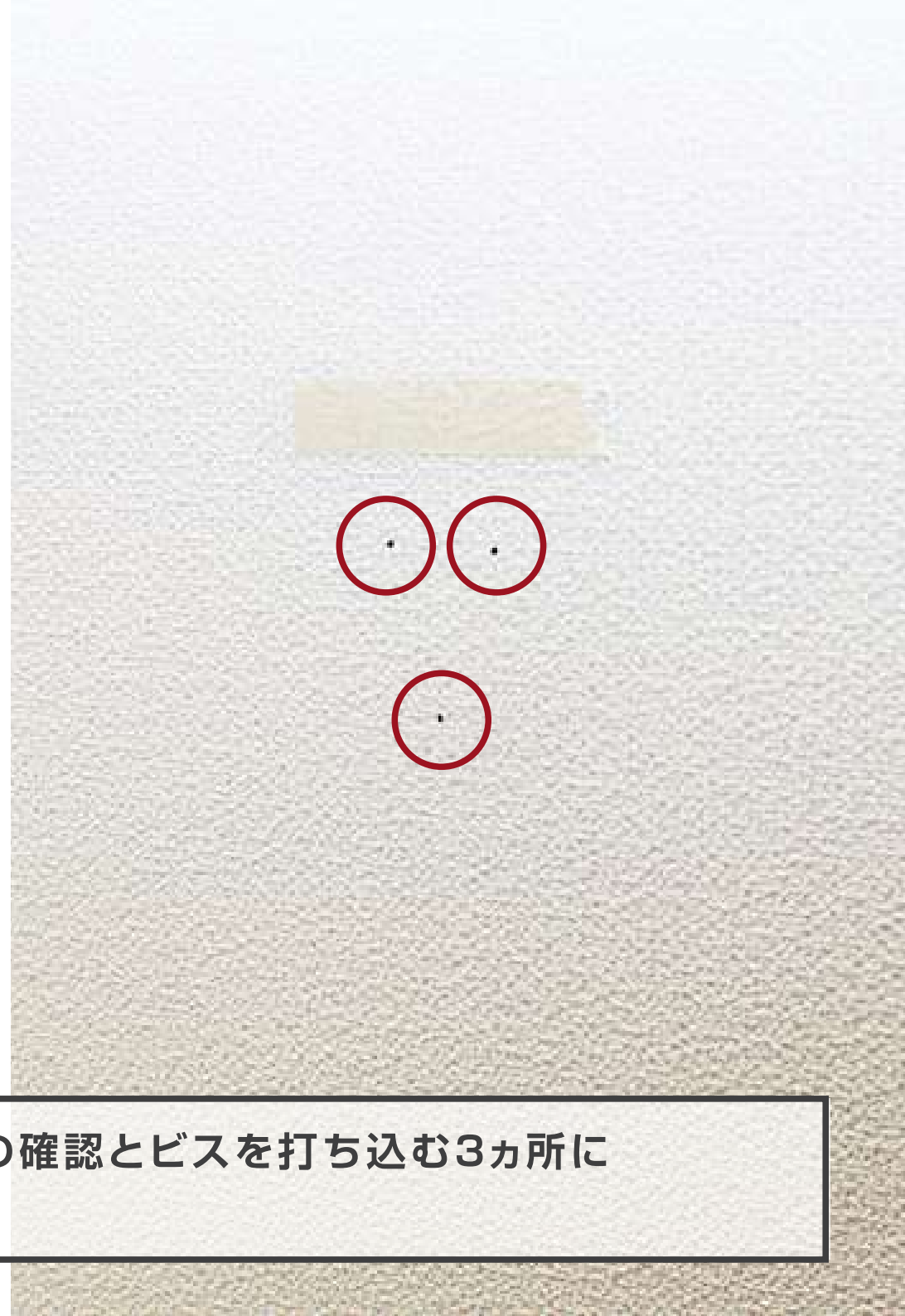
本コンテンツは、サラヤ株式会社・東京サラヤ株式会社ならびに関係会社における教育ツールの一環として制作されたものであり、許可の無い使用および転載、その他一切の権利を侵害する行為を禁止します。



設置する高さを決定します。※本体下面から対象物までの距離を300mm以上確保してください。また、鍵を鍵穴に差し込むため天面から上は100mm以上あけてください。

UD-8600-PHJ

取付板の取付



取付位置にマスキングテープを貼り、水平の確認とビスを打ち込む3カ所にマーキングします。



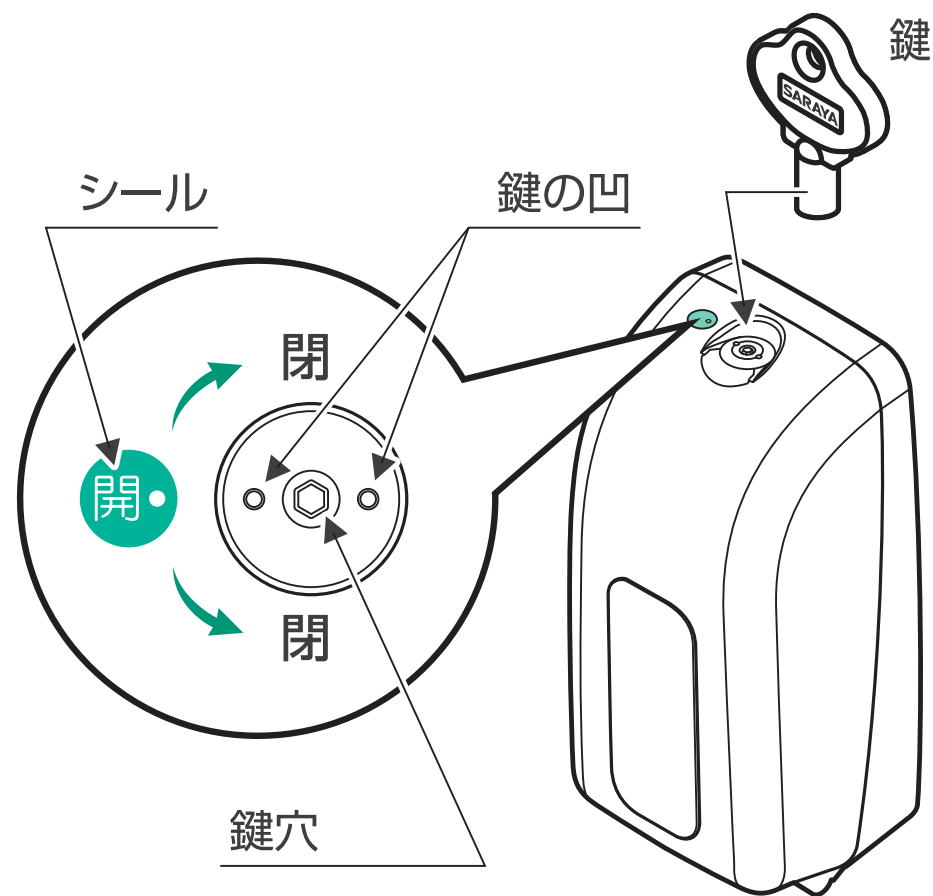
ビスを3カ所打ち込みます。

※壁の破片が落ちますので、破片受けを用意しましょう。





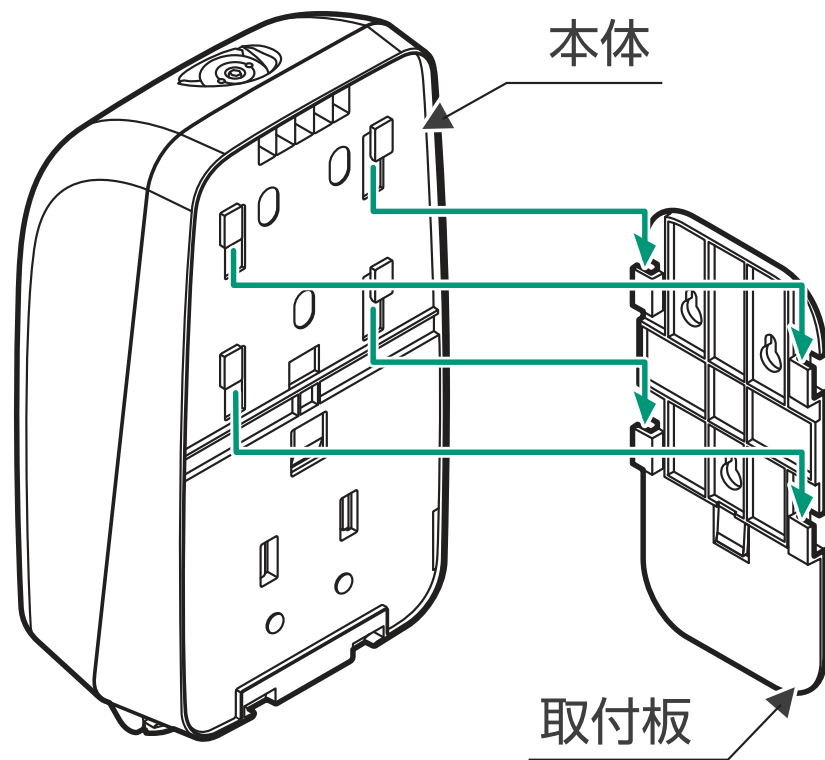
再度水平を確認し、問題がなかったらマスキングテープを外しましょう。  
取付板の取付は終了です。



鍵を本体天面の鍵穴に差し込み、鍵の凹を本体のシール「開」に合わせて鍵を抜き取ります。鍵穴を押しながら、カバーを手で持って手前に開けます。

UD-8600-PHJ

本体のセット



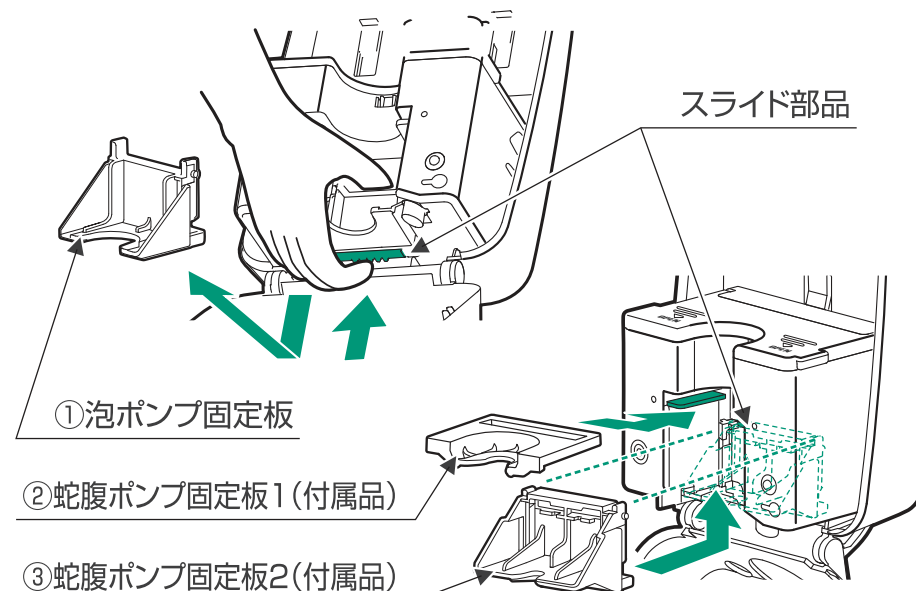
本体を取付板に添わせながら、下にスライドさせて取り付けます。



## UD-8600S-PHJ



## ■石けん液（リキッド）を使用する場合



- ① 泡ポンプ固定板を外します。（スライド部品を指で押し上げたまま、泡ポンプ固定板を下にスライドさせるように取り外してください）

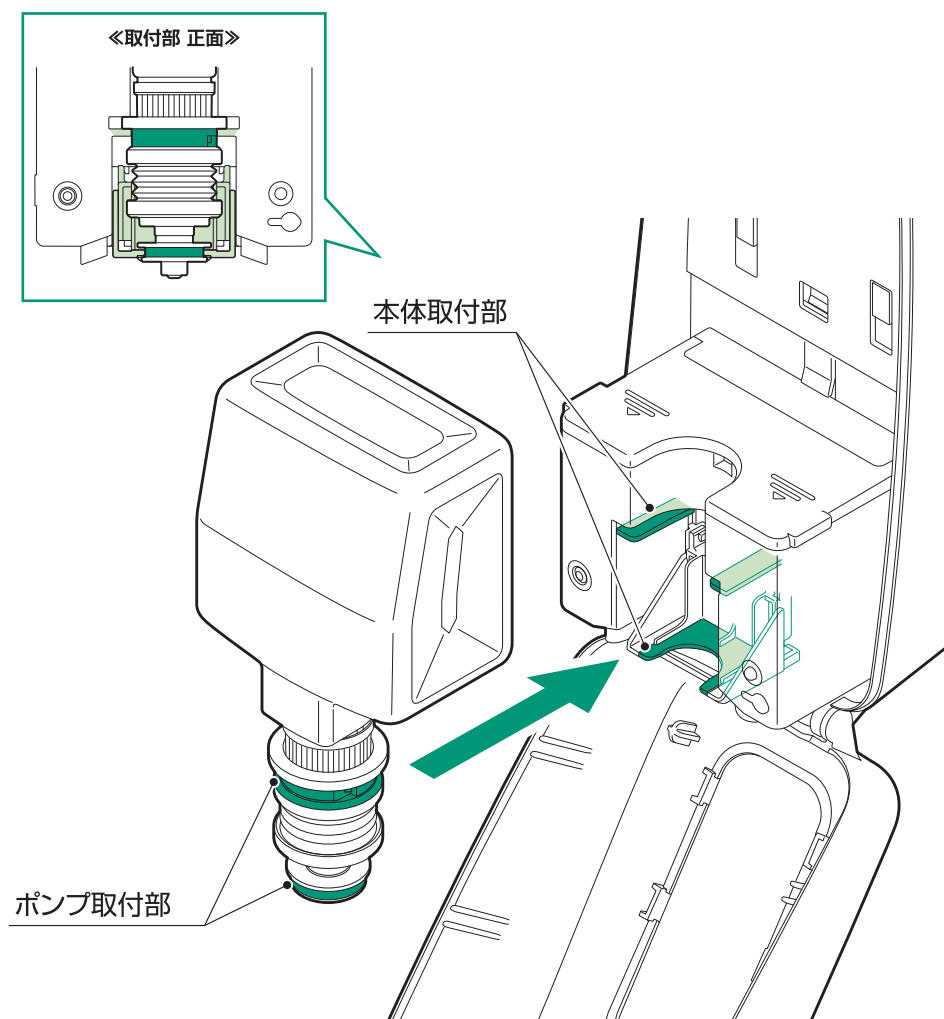
泡ポンプ固定板が外れない場合、薬液を本体に装着しない状態でカバーを閉じて、一度動作させてから外してください。

- ② 蛇腹ポンプ固定板1（付属品）を取り付けます。  
※“カチッ”と音がするまで押し込みます。
- ③ スライド部品へ蛇腹ポンプ固定板2（付属品）を取り付けます。  
※“カチッ”と音がするまで押し上げます。

薬液をセットする前に、薬液ポンプ固定板の確認をします。

※初期設定は、石けん液（フォーム）を使用するときの設定になっています。



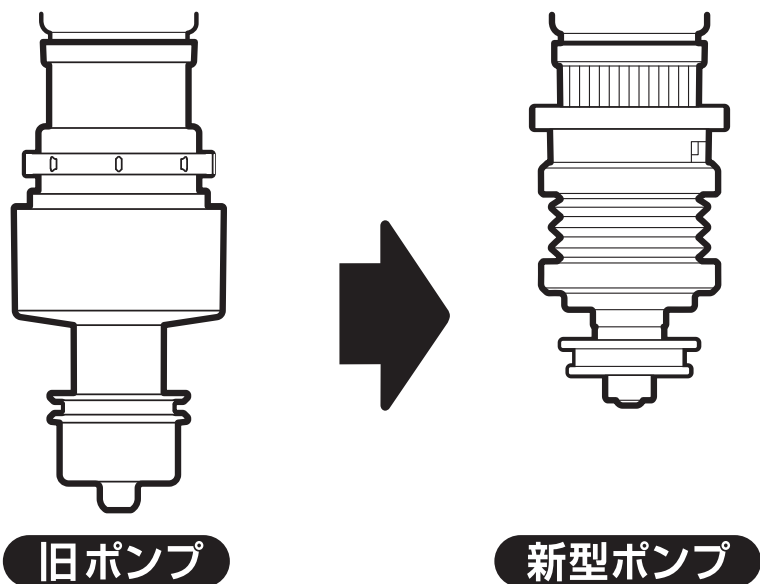


ポンプ先端のキャップ栓を外し、ロックスペーサーを取り外してから、薬液ボトルを本体にセットします。※ポンプ取付部の2カ所が“カチッ”と音がするまで押し込みます。

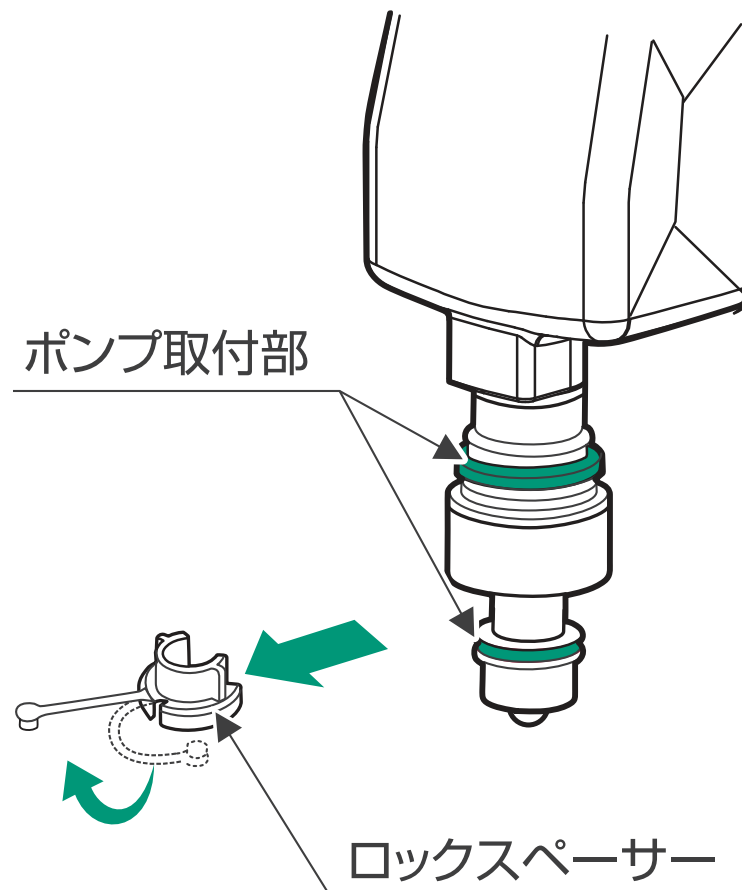
## 泡ポンプ仕様変更について

使用薬液41942:シャボネットユ・ムP-5 600mL泡または、41949:シャボネットフォーミングハンドソープ グリーンアップル 600mL泡につきましては、品質向上を目的とした仕様変更を行っております。

外観形状は変更になりますが、吐出量などの性能面では変更はございません。



### 旧ポンプ仕様の場合

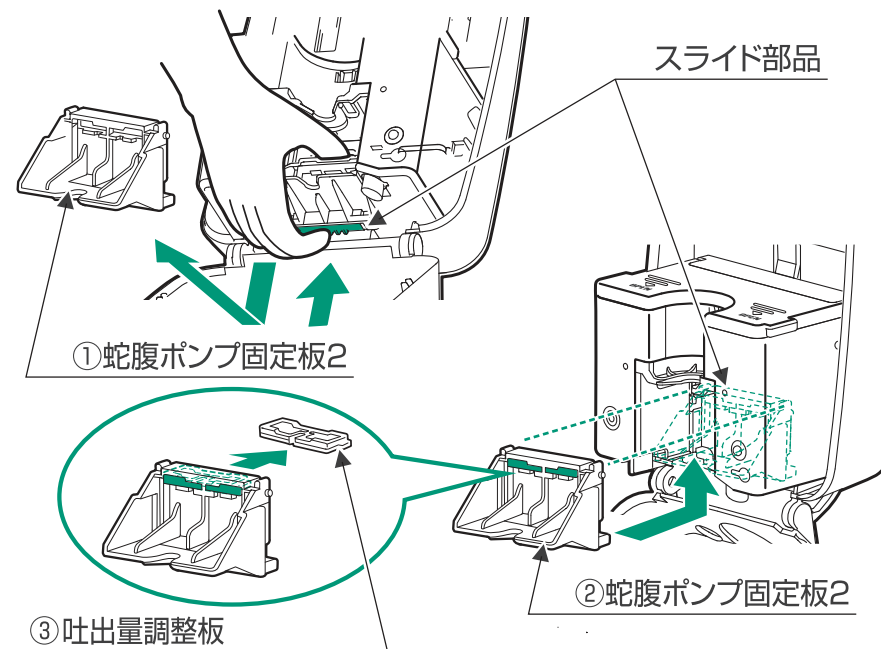


ポンプ先端のキャップ栓を外し、ロックスペーサーを取り外してから、薬液ボトルを本体にセットします。※ポンプ取付部の2カ所が“カチッ”と音がするまで押し込みます。

## UD-8600A-PHJ



## ■消毒液(ジェル)を使用する場合



- ① 蛇腹ポンプ固定板2を外します。(スライド部品を指で押し上げたまま、蛇腹ポンプ固定板2を下にスライドさせるように取り外してください)

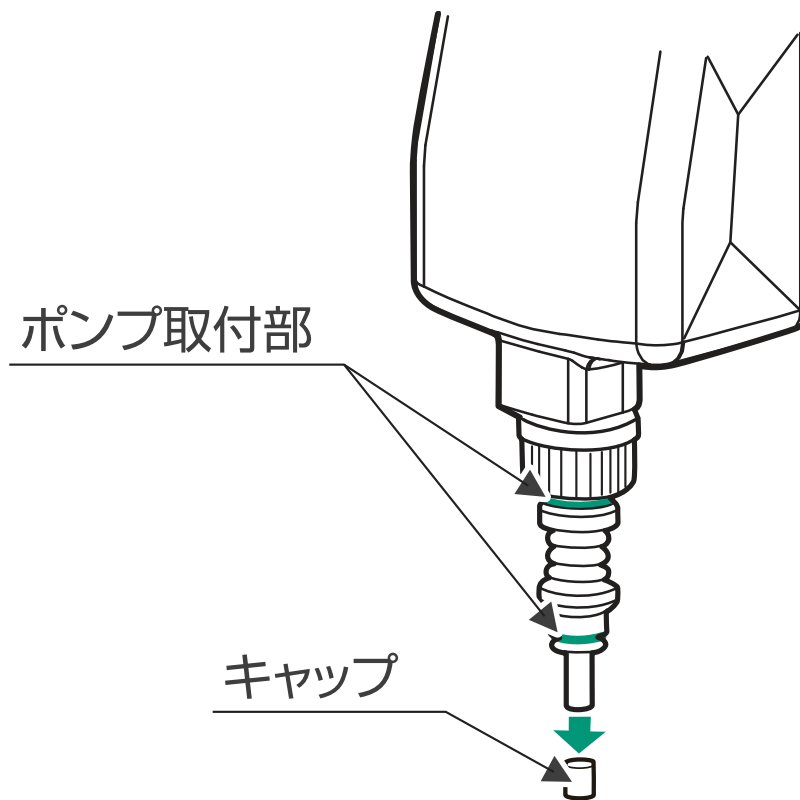
蛇腹ポンプ固定板2が外れない場合、薬液を本体に装着しない状態でカバーを閉じて、一度動作させてから外してください。

- ② 蛇腹ポンプ固定板2から吐油量調整板を取り外します。  
 ③ スライド部品へ蛇腹ポンプ固定板2を取り付けます。  
 ※“カチッ”と音がするまで押し上げます。

薬液をセットする前に、薬液ポンプ固定板の確認をします。

※初期設定は、消毒液(スプレー)を使用するときの設定になっています。





薬液ボトルのポンプについているキャップを取り外し、本体に装着します。  
※ポンプ取付部の2カ所が“カチッ”と音がするまで押し込みます。



カバー元に戻す際も、“カチッ”と音がするまで押し込みます。  
最後に鍵を「閉」に合わせて終了です。

UD-8600-PHJ

完了

いのちをつなぐ

**SARAYA**

以上で作業は終了です。

作業スペースを清掃し、忘れ物に注意しましょう。